

令和3年度農作物鳥獣被害防止対策研修 クマ対策について ～出沒対応の連携を考える～



澤田誠吾

(島根県 農林水産部 農林水産総務課 鳥獣対策室)

本日の内容

- ①ツキノワグマの基本生態
- ②保護管理のポイント
- ③出没対応について（関係機関の連携）

本日の内容

①ツキノワグマの基本生態

②保護管理のポイント

③出没対応について（関係機関の連携）

■ : 環境省(2004)の分布確認地点

■ : JBN調査による分布拡大地点

日本クマネットワーク(2014)「ツキノワグマおよびヒグマの分布域拡大縮の現状把握と軌轢抑止および危機個体群回復のための支援事業」報告書より引用。



クマ類の分布状況

ツキノワグマの基本的な生態

- 朝方と夕暮れ時を中心に行動。
- 植物を中心とした雑食性。

しかし、ばったり遭遇したり、追いつめられると、相手を一撃して逃げようとします。

(食べ物への学習能力が高く執着する)

- 12～4月頃まで樹洞や土・岩穴で**越冬**し、この間にメスは普通2頭の子を産む。
- 寿命は20年程度。繁殖率は低い。
- **子グマを連れた母グマは強い！！**
- **一般に考えられているよりも臆病で、おとなしい性質。**

ツキノワグマの身体能力

体重: オスは60~150kg メスは40~80kg

体長: 100~130cm **体高**: 50~60cm

耳(聴力): 良く聞こえる。
高音に敏感。

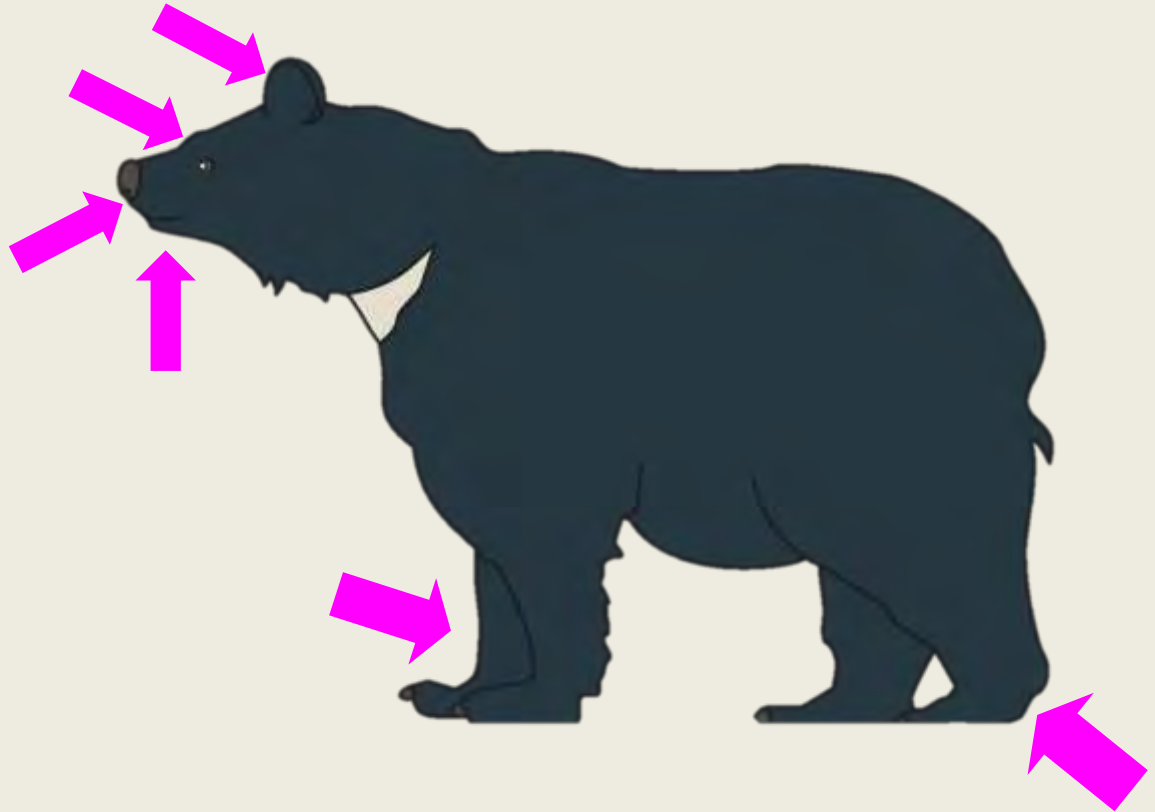
目(視力): あまり良くない。

鼻(嗅覚): かなり優れている。犬並。

噛む力: 強い。

手: 鋭い爪を持つ。
クマにとって最大の武器。

足: 速い。100mを8秒？
木登りも水泳も得意！



冬眠

出産

冬眠中は何も食べません。

12～4月頃まで冬眠します。
冬眠中にメスはふつう2頭
の子グマを出産します。



冬

春

体力
回復

ブナやコナラなどの新芽、ササ、ハナウド、フキなどの草本



子グマは1歳半頃
まで、母グマと一生
に生活します。



秋

夏

栄養
蓄積

コナラ、ミズナラ、クリなどの堅果類、クマノミズキ、クロキ、サルナシなどの液果類



冬眠に向けてたくさん
食べます。十分に栄養
をとることができたメス
だけが妊娠します。



繁殖

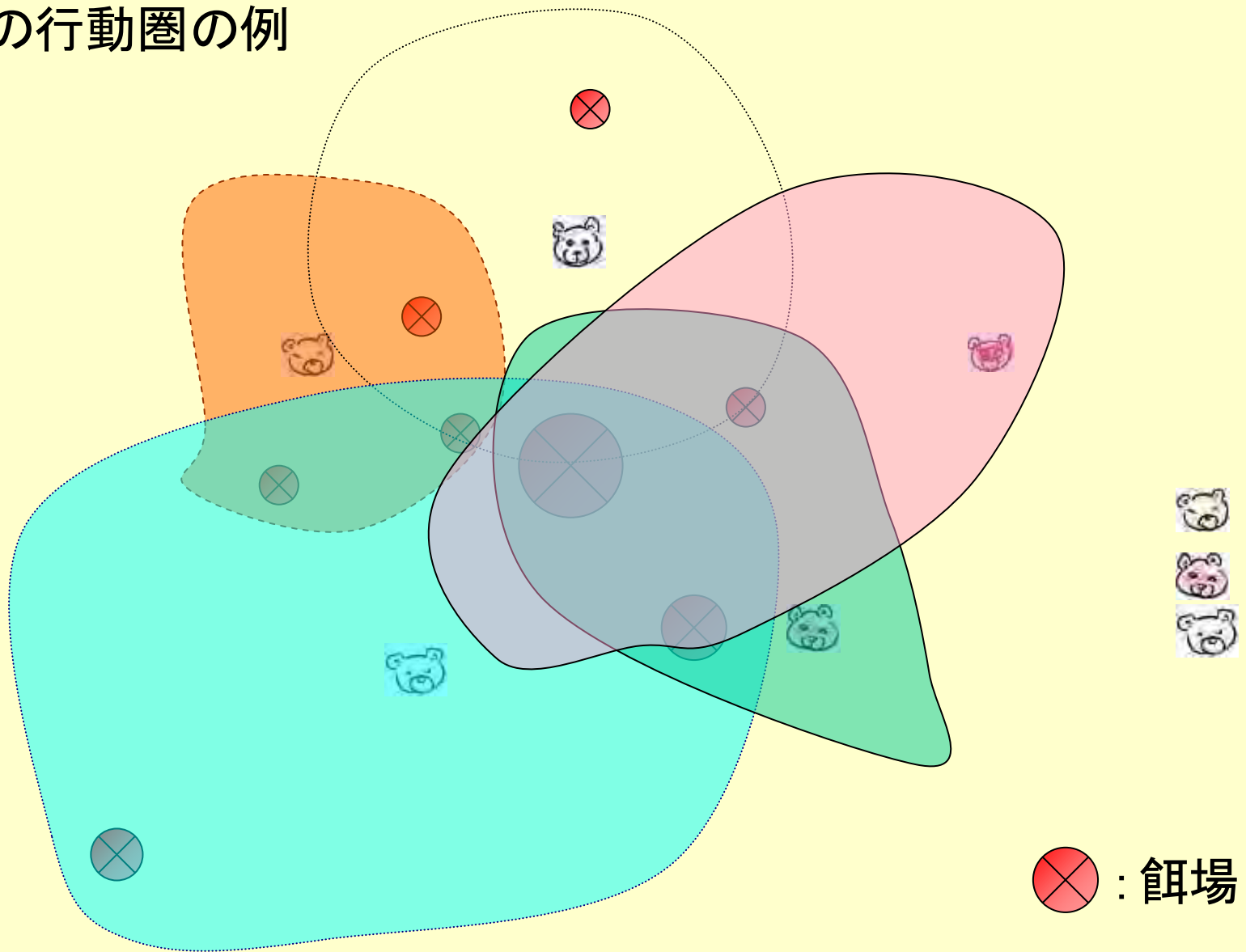
ハチ、アリなどの昆虫類、ヤマザクラ、クワなどの液果類



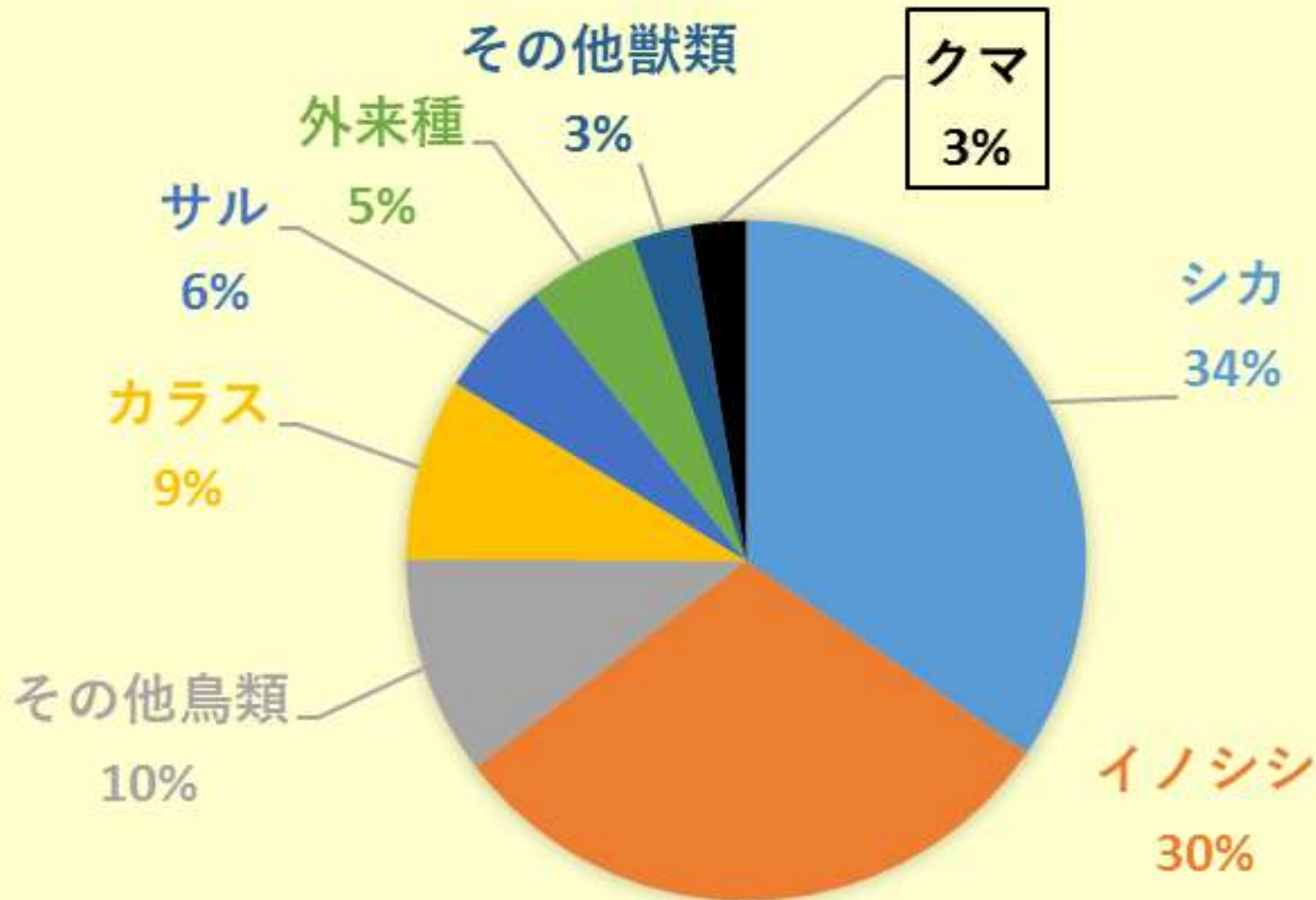
繁殖期になるとオ
スが活発に活動
するので行動域
が広がります。



クマの行動圏の例



テリトリーはもたず、一定域の中にある餌場を季節を通じて移動する。



(単位：百万円)

シカ	イノシシ	その他鳥類	カラス	サル	外来種	その他獣類	クマ
5,304	4,619	1,604	1,329	860	806	427	404

野生鳥獣による農作物被害金額(2019年度)
農林水産省HPデータより作成



養蜂巣箱の被害



民家庭先のカキ木の被害



クリの被害





ニワトリの被害



濃厚飼料の被害



家庭から出た生
ゴミへの被害



20cm

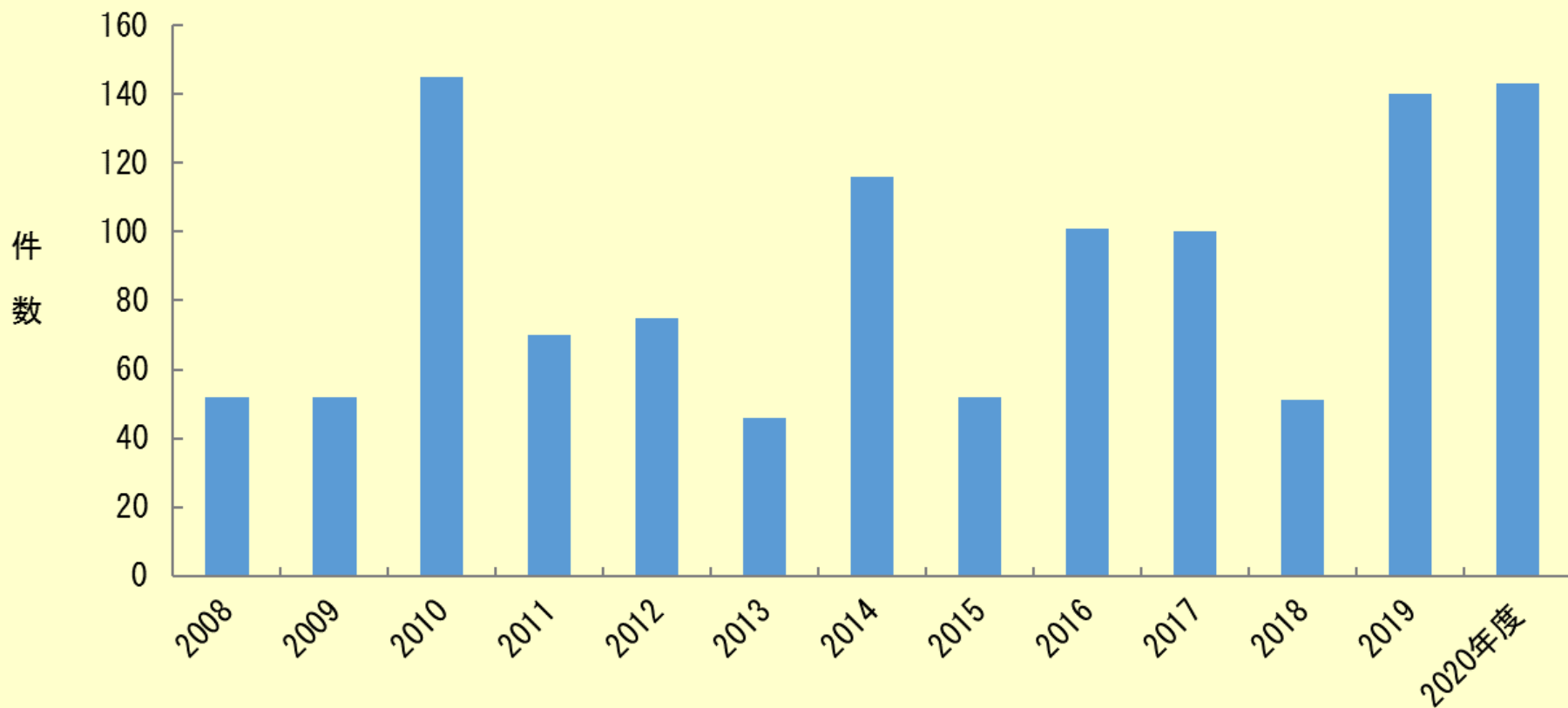
20cm

20cm

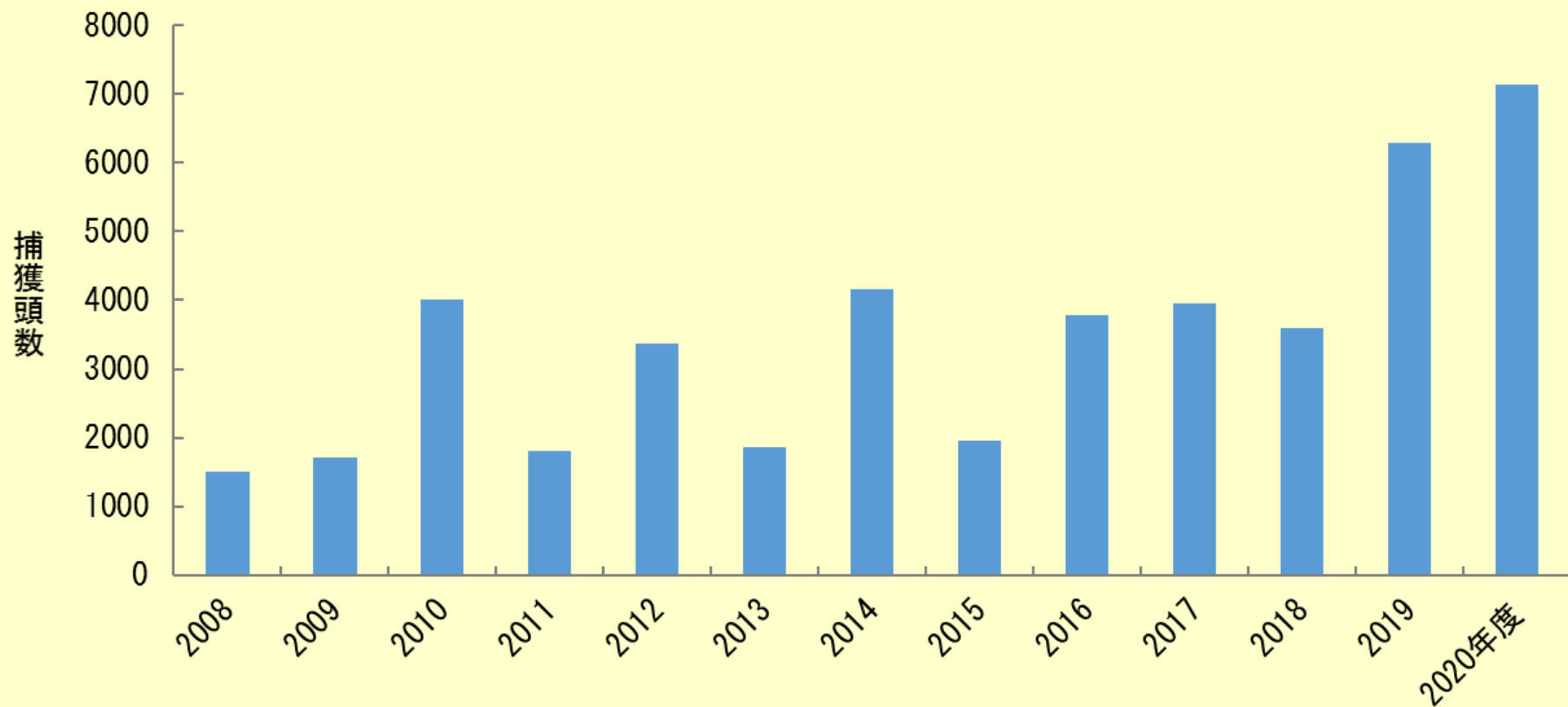


2019-10-02
20:18:07

鳥獸専門指導員:杉原瑞菜 撮影



クマ類による人身事故件数【速報値】 R3. 5. 11
環境省HPデータより作成



クマ類の捕獲数（許可捕獲数）【速報値】 R3. 5. 11
環境省HPデータより作成

本日の内容

①ツキノワグマの基本生態

②保護管理のポイント

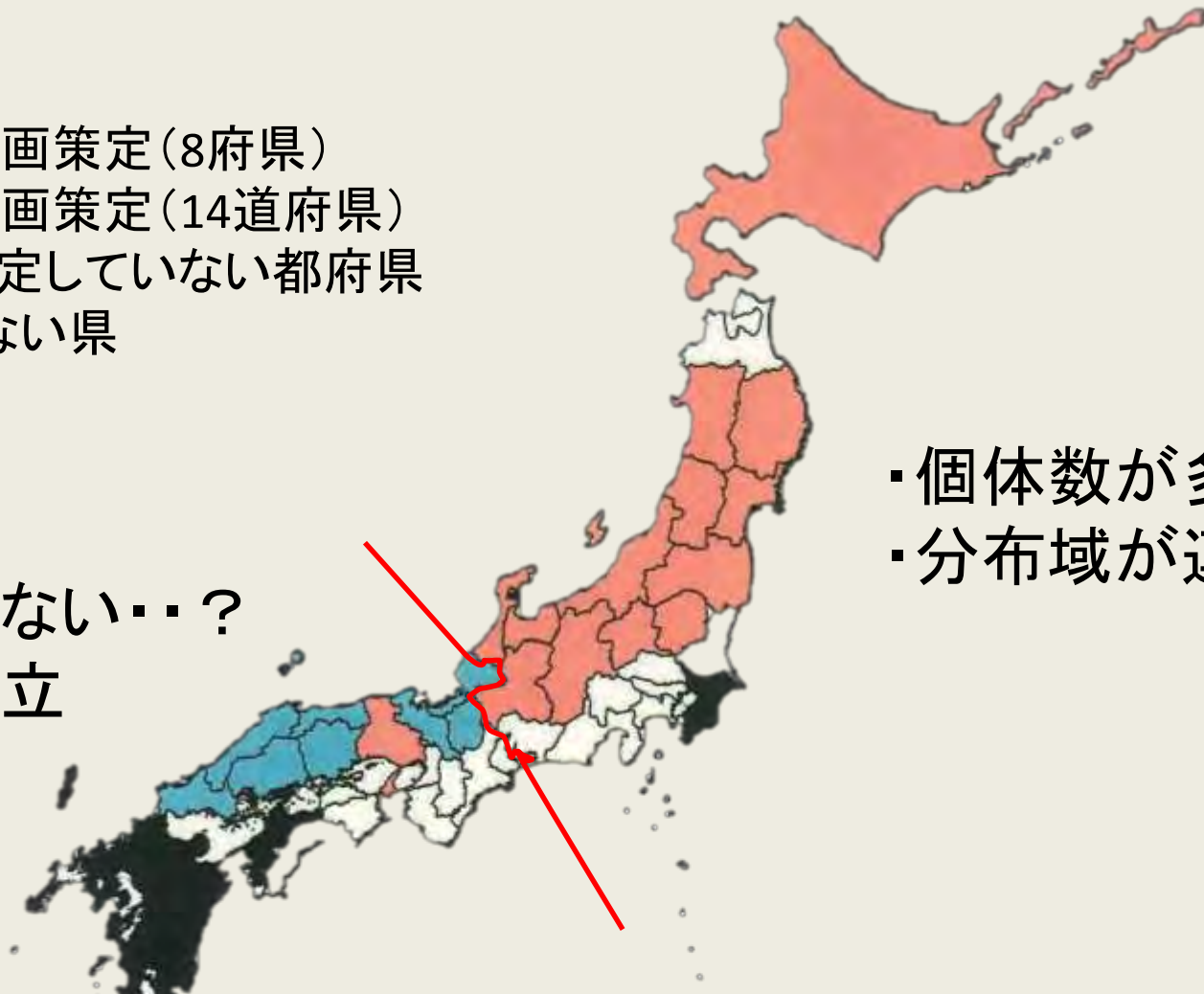
③出沒対応について（関係機関の連携）

クマ類の保護及び管理計画の状況

- : 第一種保護計画策定(8府県)
- : 第二種管理計画策定(14道府県)
- : 特定計画を策定していない都府県
- : クマが生息しない県

- ・個体数が少ない・・・？
- ・分布域が孤立

- ・個体数が多い
- ・分布域が連続



- ・どちらの計画も「人身事故の防止及び農林業被害の軽減」、「地域個体群の長期にわたる安定的な維持」を目標に定めている。
- ・目標を達成するために各地域に適した4本柱を運用していく。

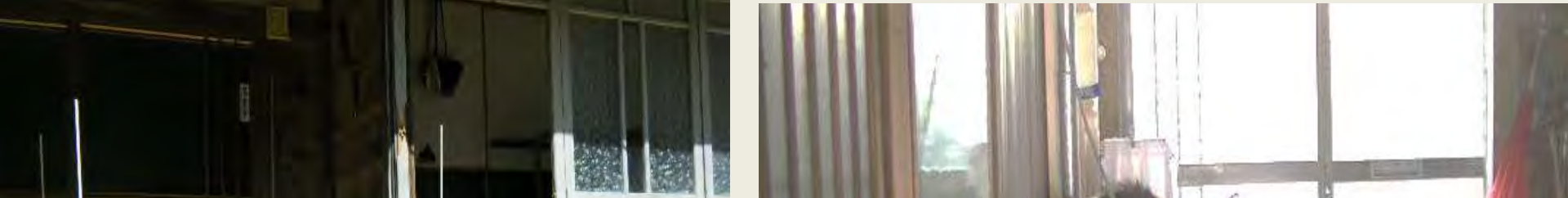
保護管理を進めるが・・・



多くの課題が山積みしている

- 分布域の拡大⇒人間活動周辺に出没
⇒地域住民と都市住民の意識のズレ
- 繰り返す大量出没
- 錯誤捕獲の増加
- 体制の整備，人材育成（確保）





地域住民にとって許容できる範囲ではない！

分布拡大や個体数の増加によって引き起こされる人とツキノワグマの軋轢をいかに防ぐかという困難な課題に対し、関係者が難しい舵取りを迫られる時になった。

